

# 実績報告書

届出者	住所	東大阪市西鴻池町3-1-38	氏名	又永化工株式会社 代表取締役 堀江光平
特定事業者の主たる業種		18プラスチック製品製造業（別掲を除く）		
該当する特定事業者の要件		レ 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者		
事業の概要		硬質塩ビシートおよびシート成型事業		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間	
2019 年	2022 年
4 月	3 月
1 日～	31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2018 )年度	前年度( 2019 )年度
温室効果ガス総排出量	3,115 t-CO <sub>2</sub>	3,313 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	3,490 t-CO <sub>2</sub>	3,619 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量	0 t-CO <sub>2</sub>	

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2021 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (2021 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3.0 %	-6.4 %	%
		削減率(原単位ベース)	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0 %	-3.8 %	%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

当社はカレンダー機械を用いたプラスチック製造業を営んでいることから、機能的生産順位を目指した製造工程の見直し、それに伴う機器昇温回数の減少ならびに連続運転から間欠運転への移行。また、製造ラインにおける用役/風量/圧力/流量の見直し、不用機器停止および製造ラインスピードの調整を行なうことにより、温室効果ガス排出3%（排出量ベース）削減を目標に工場長をリーダーとし全社一丸となり、取り組んでいく。
上記内容の取り組みは継続し実施しているが、シート成型ラインおよび塩ビ製造ラインの製造量増加に伴い、エネルギー使用量が増加し、削減率はマイナスとなっている。

(2) 推進体制

工場長をリーダーとして、定例会議の場で省エネルギー活動について情報提供を行うとともに、必要なメンテナンス等については、計画的に実施することとしている。
---

# 実績報告書

届出者	住所	大阪府松原市阿保 1-1-1	氏名	松原市 松原市長 澤井 宏文
特定事業者の主たる業種		98地方公務		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		地方自治法に基づいて、住民の日常生活に直接関係する事務を包括的に処理する。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2019	年	4	月	1	日
			～	2022	年
		3	月	31	日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2018 )年度	前年度( 2019 )年度
温室効果ガス総排出量	5,865 t-CO <sub>2</sub>	5,810 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	6,674 t-CO <sub>2</sub>	6,618 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2021 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (2021 年度)
選択	レ	3.0 %	1.0 %	%	%
		%	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0 %	0.9 %	%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>施設の新設、空調設備の新設等、エネルギー使用の増加要因がありつつも、各施設における省エネ・節電の取組により、前年度に比べ温室効果ガス排出量を1%削減した。</p>
--

(2) 推進体制

<p>「地球温暖化対策の推進に関する松原市実行計画(第3次)」に基づき、松原市地球温暖化対策推進委員会を設置し、全職員による省エネ行動の推進、施設管理者による設備等の適正管理・省エネ設計等、全庁的に温暖化対策及び省エネルギーに取り組んでいる。</p>
---

# 実績報告書

届出者	住所	東京都武蔵野市中町1-14-5	氏名	株式会社松屋フーズ 代表取締役 瓦葺 一利
特定事業者の主たる業種		76飲食店		
該当する特定事業者の要件			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		<p>牛めし定食事業、とんかつ事業、鮎事業、ラーメン事業、外販事業等を全国でチェーン展開している。</p> <p>店舗数（2020年3月31日時点） 全国：1,193店　大阪府内：125店</p>		

## ◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間
2019年 4月 1日～ 2022年 3月 31日 (3年間)

### (2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2018 )年度	前年度( 2019 )年度
温室効果ガス総排出量	8,466 t-CO <sub>2</sub>	8,320 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	9,765 t-CO <sub>2</sub>	8,336 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

### (3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2021 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (2021 年度)
選択	削減率(排出量ベース)	%	%	%	%
	レ	3.0 %	8.6 %	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0 %	20.6 %	%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( 売上高 )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

## ◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

### (1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>今回から原単位ベースの削減率に変更しております。しかし、新型コロナウイルス感染症により売上が大幅に減少し、削減率も悪化予定です。</p> <p>【2018年度】①売上：95億円、②温室効果ガス総排出量：8,466t-CO<sub>2</sub>、③平準化補正後：9,765t-CO<sub>2</sub></p> <p>【2019年度】①100億円、②8,320t-CO<sub>2</sub>、③8,336t-CO<sub>2</sub></p> <p>【2020年度(予測)】①80億円、②8,300t-CO<sub>2</sub>、③8,250t-CO<sub>2</sub></p>
--

### (2) 推進体制

<p>当社『環境方針』に基づき、組織体制を整え活動している</p> <p>具体的には、店舗開発担当取締役を計画管理責任者、事業推進部マネージャーを計画推進責任者に任命し推進を図っている</p>
--

# 実績報告書

届出者	住所	大阪府東大阪市渋川町3丁目9-25	氏名	株式会社万代 代表取締役 阿部 秀行
特定事業者の主たる業種		58飲食料品小売業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		主に、食料品の小売をしており、近畿圏で155店舗を出店し、そのうち、大阪府内では104店舗の出店を行っている。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2019 年	4 月	1 日	～	2022 年	3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2018 )年度	前年度( 2019 )年度
温室効果ガス総排出量	58,506 t-CO <sub>2</sub>	59,346 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	65,726 t-CO <sub>2</sub>	66,650 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2021 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (2021 年度)
選択	削減率(排出量ベース)	%	%	%	%
	レ 削減率(原単位ベース)	3.0 %	5.9 %	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0 %	6.0 %	%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(床面積)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	
特になし。	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

店舗改装時に、ショーケースの入れ替え、照明のLED化により、エネルギー使用量の削減に取り組んだ。
--

(2) 推進体制

<ul style="list-style-type: none"> <li>・全社的に温暖化対策、省エネ対策に取り組むため関西電力のエナッジシステムを導入し運用中。個店別で見える化を実施し、従業員1人1人が意識する事を目的とした取り組みを継続。毎月結果を振り替わり、好事例は水平展開を実施。</li> </ul>
---